

日塗工業況観測アンケート1月結果・全体としては4.9ポイントの低下

- 公開日時: 金曜日 - 26 2月 2021

大変遅くなりましたが、日塗工の業況観測アンケート1月調査分についてのコロナ禍とリーマンショック時の業況推移対比図をお送りします。

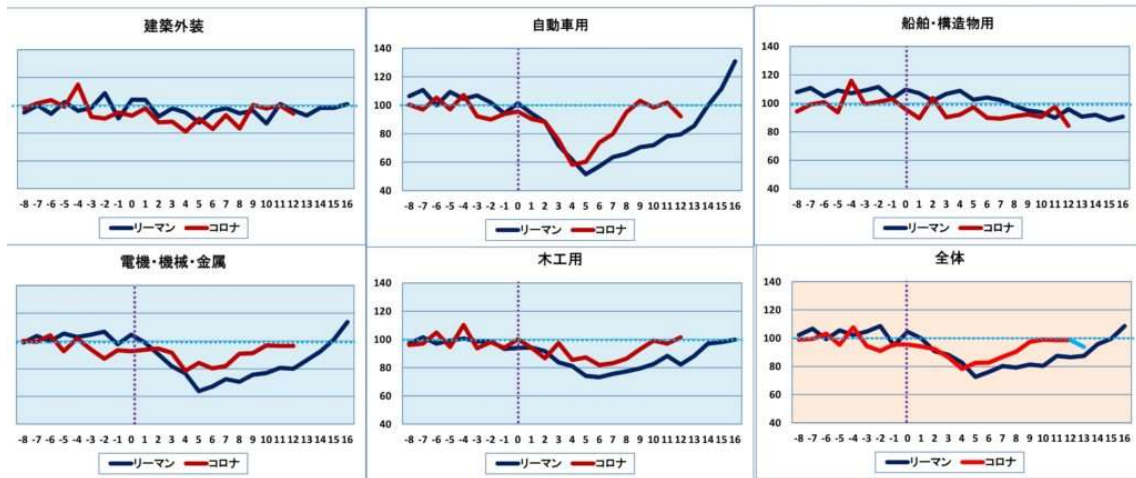
業況観測アンケートのご紹介が遅れた理由は二つあります。一つ目は、回答提出期限を守らない会社があったことでこれで約1週間日塗工の発表が遅れました。二つ目は、私のミスでデータを持帰ることを忘れてしまい在宅勤務日である昨日に載せられなかったことです。申し訳ありません。

業況観測結果はすでに組合員の皆様にはFAXでお送りしてありますので、一昨年10月以降の、需要分野別前年同月比の表だけ示します。1月は12月に比べ全体で4.9ポイント下がりました。やはり緊急期待宣言の影響と考えられます。

前年同月比	金額	建築外装	自動車	船舶・ 構造物	電機・機 械・金属	木工	全体
2019年	10月	91.7	92.3	99.4	94.1	93.7	94.4
	11月	90.5	90.0	101.1	87.2	98.1	91.0
	12月	94.9	93.9	103.0	93.3	94.0	95.7
2020年	1月	92.5	95.6	95.9	92.7	100.1	95.5
	2月	97.7	90.4	89.6	93.7	94.1	94.2
	3月	87.7	88.4	103.7	94.5	86.8	92.3
	4月	88.3	75.5	90.2	91.6	97.4	86.7
	5月	81.1	58.4	92.1	78.5	85.5	78.3
	6月	90.4	60.3	97.3	84.3	87.3	82.6
	7月	83.0	73.9	89.8	80.3	81.9	82.8
	8月	92.9	79.8	89.3	82.0	83.2	86.8
	9月	83.3	95.2	91.0	90.8	86.4	90.3
	10月	100.2	103.1	92.2	91.2	93.1	97.4
	11月	97.6	98.4	90.5	96.9	99.2	98.9
	12月	99.8	102.0	97.6	96.4	97.0	98.7
2021年	1月	94.0	92.3	84.2	96.5	101.5	93.8

リーマンショック時との推移の対比は、これを受けてこれまでとは少し様相が変わってきました。これまでは、今回のコロナ禍における需要の停滞は、リーマンショック時のそれと比べて、比較的早く回復してきているとみられていたましたが、ここで下降線をたどればその結論は時期尚早ということになります。ともあれ、対比図をご覧ください。起点はコロナ禍が昨年1月、リーマンショックが2008年9月です。建築外装、自動車、船舶・構造物用がいずれも1月は下をむきました。

日塗工 業況観測アンケートの需要分野別概況 リーマン時とコロナ時（今回）の比較



リーマン時 2008年9月を0とし、前8か月 後16か月 } の前年比（金額）を図示
 コロナ時（今回） 2020年1月を0とし、前8か月、後12ヶ月 }

これからの動向はやはり、一に感染症の動向にかかっています。それと4月以降の前年同月比のデータについては、昨年（2019年）の需要停滞を考慮する必要があります。

今回の業況観測アンケート全体の前年同月比は93.8でしたが、前年の1月の前年同月比が95.5であり、単純に掛け算すると、1月の前々年同月比は90を少し下回る数値となります。今後は前年同月比とともに前々年同月比もあわせて提示しようかと思っています。